

情報・システム研究機構国立極地研究所で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

情報・システム研究機構国立極地研究所（以下、「研究所」という。）が雇用する日本学術振興会特別研究員－PD等（以下、「特別研究員－PD等」という。）の研究環境の確保・充実及び能力開発支援等に関する育成方針及び予定する取組等は、次の通りとする。

1. 研究環境の確保・充実

- (1) 特別研究員－PD等が研究に専念し、その能力を十分に発揮できる環境を確保するため、研究の実施に必要な施設・設備・文献・標本資料・通信環境等の利用を可能とする。
- (2) 南極・北極の双方に観測拠点を持つ研究所の強みを活かし、南極観測や北極観測等のフィールド観測・調査の機会を提供し、その参加を支援する。
- (3) 研究所の持つ最先端の観測機器や分析装置の活用による研究成果の創出を支援する。
- (4) 国際学術組織への参加や海外での研究活動経験を通じて、特別研究員－PD等自身の国際的プレゼンスを強化し、将来、国際共同研究プロジェクトを牽引する人材を輩出する。
- (5) 研究者が研究活動を行ううえで重要な科学研究費助成事業を含む外部資金獲得や成果発信に対して、特別研究員－PD等が積極的に活動できるよう柔軟な支援を提供する。
- (6) 特別研究員－PD等に係る安全衛生管理について、労働災害の未然防止、安全の確保及び健康の保持増進を図るとともに快適な職場環境の形成を促進するため、情報・システム研究機構安全衛生管理規程等に基づき健康診断の受診、その他適正な安全衛生管理を行う。

2. 女性研究者に係る育成方針、予定する取組等

男女共同参画社会の実現、多様な視点や創造性を確保し、活力ある柔軟な研究環境を形成するため、女性研究者を主としたライフイベント中の特別研究員－PD等への支援の充実を図る。

具体的には、女性研究者が働きやすい環境整備の一環として、本人又は配偶者の出産又は育児に伴い研究に専念することが困難な場合は、採用の中断及びそれに伴う延長を可能とする。また、研究活動や研究ネットワークの構築に資する柔軟な支援を提供する。

3. 能力開発機会の提供

特別研究員－PD等は、最も研究に専念できる、研究者として成長していく上でのキャ

リアパスの一段階にある。この時期を経て、特別研究員－PD 等が将来的に産学官各領域で研究者として活躍していくためには、研究に集中できる機会や環境とともに、研究者としてのキャリアに必要となる能力開発の機会を提供することが極めて重要である。このため、以下に例示するプログラムを提供する。

○プログラムの例

- ・受賞候補者推薦支援
- ・科研費説明会
- ・外部資金獲得個別相談
- ・極地研研究談話会
- ・極地研特別研究談話会
- ・南極地域観測隊冬期総合訓練
- ・南極地域観測隊夏期総合訓練
- ・研究活動における必須項目
 - － 研究インテグリティ（研究不正・研究費不正・安全保障輸出管理・利益相反）
 - － 知的財産
 - － 情報セキュリティ
 - － 個人情報保護
 - － コンプライアンス
 - － 男女共同参画

また、特別研究員－PD 等の研究分野に必要なスキルについては、受入研究者が行うオンザジョブトレーニング(OJT)等により習得する。